



# 北村 あや子 区政ニュース

## 荒川区役所本庁舎建て替え検討状況

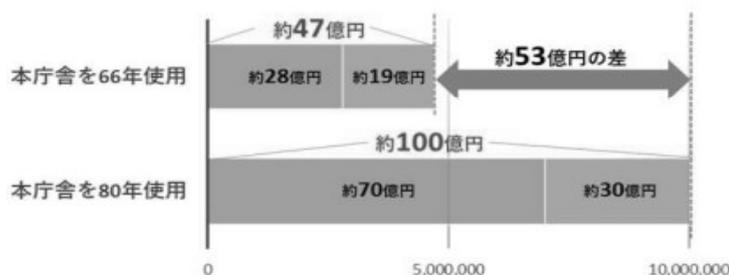
荒川区庁舎は1968年に竣工、地上7階地下1階建て。横長の湾曲した外観のクラシカルな庁舎です。建築面積は3,780㎡、延べ床面積は16,770㎡、今年で築55年となります。区は「耐用年数は65年としているものの、大規模改修工事などで80年まで長寿命化が可能」として長寿命化を推進してきました。2009年の耐震工事15.4億円をはじめ、改修工事などで合計約38億円をすでに現庁舎にかけています。

しかし今後、80年まで使用するとした場合は大規模・根本的な改修も必要となるといいます。最長80年(2048年)まで使用した場合と、66年(2034年、他区が計画～建設に要した期間を参考にした年数)まで使用した場合を比較すると、改修経費は53億円追加でかかる見込みといわれています。



今後必要となる大規模改修・維持補修経費の比較

■ 本庁舎 ■ 周辺施設



区は施設・設備の老朽化、庁舎機能が分散化しており来庁者にとって利便性が低いこと、手狭なこと、環境負荷、災害時の防災機能、バリアフリー対応などを現状の課題としてあげています。

### どこに建て替えるの？

最有力候補地は現本庁舎向かいの荒川公園(左画像)。区内でも貴重な緑豊かな公園ですが、樹木はどうするつもりなのか。

### 建設工事費の財源は？

庁舎建設には約200億円がかかると想定していますが、国や東京都の補助措置はありません。区は5割を基金積み立てとして、今年度から12億5千万円を積み立てて2030年までに約100億円を貯める予定です。

建設費の1/4は起債(約50億円を想定)を発行、残りの1/4相当分については「今後、民間活力の活用など様々な事業手法の可能性を追求し、財政負担軽減に努める。」としています。PFIやクラウドファンディング、新庁舎のテナント賃貸料などを想定しているようですが…。

今いる区民が必要としている事業、子育て、高齢者・障がい者、地域経済支援など様々あります。「区庁舎建て替えがあるから、それらの事業ができない」というのは問題ではないでしょうか。起債割合を高め、将来の区民に負担を分散することも必要ではないでしょうか。

なさんの率直なご意見をお寄せください。



8月の法律相談はお休みします。お急ぎの方はご相談ください。生活相談はいつでもどうぞ。

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



